

平成23年度開催経営協議会での意見の反映状況

①構想会議で出す提言について。

(H23. 11. 25開催 第33回 報告事項 香川大学構想会議について)

学外委員の意見を受けて、香川大学の進むべき方向等など大学として意思決定する際の「香川大学将来構想決定の手順」を作成し、平成23年12月28日開催の第3回香川大学構想会議で説明した。

また、経営協議会に対しては「大学を取り巻く最近の情勢について」として、必ず、直近の香川大学構想会議の検討状況を報告することとしている。

②「教育改革の基本方針」に掲げた3つの方針の目的及び現状での評価等について。

(H23. 11. 25開催 第33回 その他報告事項 大学を取り巻く最近の情勢について)

香川大学のこれまでの取組を点検・評価し、第1回～第2回香川大学構想会議において香川大学の教育改革の進捗状況と今後の課題等を説明し、今後の本学の進むべき方向について外部有識者からご意見をいただいた。

学外委員の意見を受けて、香川大学構想会議で、改めて、これまでの施策の見直して、新たな視点から教育改革の再構築を図ることとする。このため、平成23年12月28日開催の第3回香川大学構想会議において、香川大学の今後の方向性と重点課題とし、「Ⅴ 今後取り組むべき戦略課題(①教育・研究面、②組織面、③運営面)」を提案し、現在、検討中である。

③自己点検・評価は、PDCAサイクルが機能するシステムでなければならない。

(H24. 1. 17開催 第34回 審議事項 新しい自己点検・評価制度について)

平成24年度から新たに実施する自己点検・評価では、PDCAサイクルが機能するシステムとするために、以下のとおりの手順で実施することとした。

- ①各部局等は、自己点検・評価を行い、その結果を報告書としてまとめる。
- ②大学評価室は、各部局等の自己点検・評価結果(報告書)を取りまとめ、大学評価委員会の議を経て、役員会へ報告する。
- ③役員会は、自己点検・評価結果の内容から、改善等が必要であると判断した場合は、当該部局等に対して改善指示等を行う。
- ④改善指示等を受けた部局等は、改善計画書を提出し、改善を行うとともに、次年度に実施する当該年度の実績報告の際に、その改善状況について報告する。

④運営費交付金等の大学運営に係る基盤的経費と同様に、競争的資金等の外部資金(オーバーヘッドも含め)についても、予算編成方針を定めたり、ある程度翌年度の見込みを想定して、年度当初に方針をたてることも必要ではないか。また、大学全体の活力を示すには、外部資金を含めた大学の運営経費について外に見せることも重要ではないか。

(H24. 1. 17開催 第34回 審議事項 平成24年度予算編成方針等について)

平成24年3月6日開催の第35回経営協議会において、「外部資金の受入状況等」について資料に基づき、説明を行った。

⑤学内再編は、シナジー効果が期待できる再編でなければ意味がない。

複数学部から、学生定員を出し合ったり教員定数を動かすだけの新学部設置では起爆剤とはならない。

(H24. 1. 17開催 第34回 その他報告事項 大学を取り巻く最近の情勢について)

新学部設置タスクフォースにおいて、新学部構想を検討してきたが、シナジー効果を生み出す方向での構想が打ち出せなかった。

現在は、平成23年10月に発足した香川大学構想会議において、学外有識者の意見を踏まえ、全学的な見地から学部改組、学部横断型の特別教育プログラム等を検討している状況である。

⑥香川大学は「四国唯一の総合大学」と言われるが、受験生の視点では決してたくさん学部があった方が良いわけではない。そのような観点から見直すことも必要ではないか。

(H24. 1. 17開催 第34回 その他報告事項 大学を取り巻く最近の情勢について)

香川大学のこれまでの取組を点検・評価し、第1回～第2回香川大学構想会議において香川大学の教育改革の進捗状況と今後の課題等を説明し、今後の本学の進むべき方向について外部有識者からご意見をいただいた。

学外委員の意見を受けて、香川大学構想会議で、改めて、これまでの施策の見直して、新たな視点から教育改革の再構築を図ることとする。このため、平成23年12月28日開催の第3回香川大学構想会議において、香川大学の今後の方向性と重点課題とし、「Ⅴ 今後取り組むべき戦略課題(①教育・研究面、②組織面、③運営面)」を提案し、現在、検討中である。

⑦特別教育プログラムについては、香川大学の特徴として今後進めてほしい。しかし、全学に共通している教育プログラムが必要である。

(H24. 3. 6開催 第35回 その他報告事項 大学を取り巻く最近の情勢について)

香川大学構想会議の意見・提言を受けて、学部横断的な特別教育プログラムについて検討することとなった。実施時期については、可能なものから順次開設することとし、まず、平成25年度から下記3つのプログラムを開設する予定である。

- ・グローバル人材育成プログラム(英語)
- ・グローバル人材育成プログラム(中国語)
- ・防災士資格取得プログラム

また、全学に共通している教育プログラム(学部横断的なもの)については、現在、香川大学構想会議で検討中である。